

生物化学的測定研究会 第17回(2012年) 学術シンポジウム

テーマ：環境と食の安全に向けた免疫化学的測定方法の進歩と課題

生物化学的測定研究会では、経済産業省の支援で JIS の“競合免疫測定方法通則”、“非競合免疫測定方法(サンドイッチ法)通則”、“アリル炭化水素受容体結合レポーター遺伝子アッセイ通則—ダイオキシン類の AhR アッセイ”および“ポリクロロビフェニル(PCB)の免疫測定方法通則”をまとめて、これらアッセイ方法の実用化を推進してまいりました。

そこで、本年度の学術シンポジウムでは環境と食の安全に向けた免疫化学的測定のこれまでの進歩と課題について、下記の講演会を開催して、これまでの実績の認識を深めるとともに、これからの課題について理解を深めて、共通課題について関係者が連携して解決にあたる可能性等を論議する機会を持ちたいと思います。

日時;2012年11月2日(金)13:00—17:20

場所;福岡県中小企業振興センター(福岡市博多区吉塚本町 19-15)

(<http://www.joho-fukuoka.or.jp/new/center/contents/map.html>)

講演会(13:00—17:20)

1. 残留農薬等の免疫化学測定 (財)京都高等技術研究所 三宅司郎
2. カドミウムのイムノクロマトグラフィー (株)住化分析センター 新井秀和
3. 食物アレルゲンの免疫化学測定 (株)森永生科学研究所 本庄 勉
4. 微生物毒素等の免疫化学測定 国立医薬品食品衛生研究所 小西良子
5. Q-Body 測定 (株)プロテイン・エクスプレス 阿部亮二
6. 総合討論

交流会(17:20—19:00)

講演会参加費:会員 3,000 円(要旨集込み)、非会員 5,000 円(要旨集込み)、

学生;参加費無料(要旨集 2,000 円)

交流会参加費:5,000 円

生物化学的測定研究会(<http://www.basj.info/>)

世話係;特別顧問 大川秀郎(e-mail;hideo.ohkawa@gmail.com)

事務局長 山田倫行(e-mail;basj@scas.co.jp)